



# 故事成語 — 中国の名言 —

## 目標

- 漢文訓読の仕方を理解したり、音読したりして、漢文に慣れる。
- いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。



私たちは、中国の古典に記されている故事から生まれた成語（故事成語）を日常生活の中でよく使っています。例えば、「あの人の話は矛盾むじゆんしている。」というときの「矛盾」も、中国の古典に書かれている話がもとになっています。

▼矛盾 ▼盾

楚 紀元前の中国にあった王国。

## 矛盾

楚人そひとに、盾たてと矛ほことをひさぐ者あり。

これをほめていはく、

「わが盾の堅かたきこと、

よくとほすおものなきなり。」と。

楚の国の人で、盾と矛とを売る者があつた。

これをほめて、

「私の盾の堅いことといったら、貫つらぬいて穴をあけられるものはない。」と言つた。

楚人ニ有リ下鬻ヒ二盾ト与レ矛ヲ者上。

誉ほメテ之コトヲ曰ハク。

「わが盾の堅かた、

莫な二能ク陷ス也ナリト。」

また、その矛をほめていはく、

「わが矛の利きこと、

物においてとほさざる こと なきな

り。」と。

あるひとはいはく、

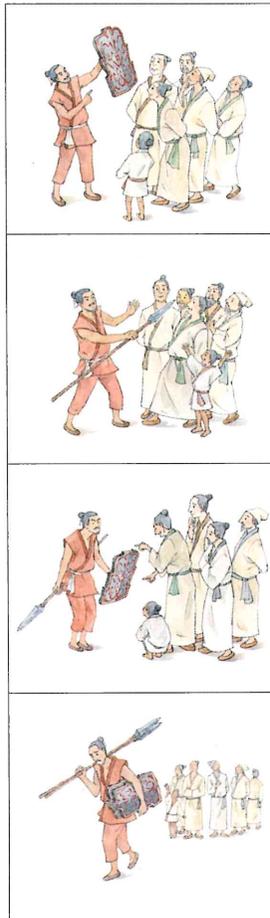
「子の矛をもつて、

子の盾をとほさばいかん。」と。

その人応ふること あたはざるなり。

「矛盾」の他にも、「危機一髪」「五十歩百歩」「推敲」「蛇足」「竜頭蛇尾」など、日常生活の中で使われている故事成語がたくさんあります。

次にあげる「助長」も現代の日本語の中でよく使われる故事成語の一つです。



また、その矛をほめて、

「私の矛の鋭いことといったら、

どんなものでも貫いて穴をあけら

れないものはない。」と言った。

ある人が、

「あなたの矛で、

あなたの盾を貫こうとしたならば

どうなるだろう。」と尋ねた。

その人は答えることができな

かった。

又、誉<sup>また</sup>メテ<sup>ソノ</sup>其<sup>ヲ</sup>矛<sup>ハク</sup>一<sup>ハク</sup>曰<sup>ハク</sup>、

「吾<sup>ガ</sup>矛<sup>ノ</sup>之<sup>キコト</sup>利<sup>キコト</sup>、

於<sup>オイテ</sup>レ<sup>ニ</sup>物<sup>ニ</sup>無<sup>キ</sup>レ<sup>キ</sup>不<sup>レ</sup>レ<sup>キ</sup>陷<sup>サ</sup>也<sup>ト</sup>。」

或<sup>アルヒト</sup>曰<sup>ハク</sup>、

「以<sup>モツテ</sup>子<sup>ノ</sup>之<sup>ヲ</sup>矛<sup>一</sup>、

陷<sup>サバ</sup>子<sup>ノ</sup>之<sup>ヲ</sup>盾<sup>一</sup>何<sup>イ</sup>如<sup>イ</sup>也<sup>ト</sup>。」

其人<sup>ノ</sup>弗<sup>ズ</sup>能<sup>ハ</sup>レ<sup>フルコト</sup>也<sup>ト</sup>。

10

《出典》『新釈漢文大系12 韓非子下』によった。

▼ 尾 鋭

助長

宋人そうひとにその苗なへの長(工)ちやうぜざるをうれへ(工)、

これをぬく者あり。

芒芒然(ホウボウ)ばうばうぜんとして歸(工)かへり、

その人にいひていはく(工)、

「今日こんにち病つかれたり。」

予われ苗を助けて長ぜしむ。」と。

その子はしりて往ゆきてこれを視みれば、

苗則(工)すなはちかれたり。

5

宋の国の人で自分の畑の苗が伸びないことを心配して、苗を引っぱり上げる者がいた。

すっかり疲れはてて家に

帰って、家族に、

「今日は疲れたよ。

わしは苗を助けて伸ばして

やったのだ。」と言った。

その息子が走って畑に行つ

て見てみると、

苗はもう枯かれていた。

宋人有ニ閱リ二其苗之ノ不レ長セ、

而上擥レ之者。

芒芒然トシテ歸リ、

謂イヒテ二其人一日ハク

「今日病レタリ矣。」

予助ケテレ苗長ゼシムト矣。」

其子趨ハシリテ而往キテ視レバ之ヲ、

苗則チカレタリ槁矣。

《出典》『新釈漢文大系4  
孟子』によった。

宋 紀元前の中国にあった国。

▼ 苗

▼ 疲

▼ 枯



# 千 みちしるべ

## 内容を捉えよう

1 漢文訓読の仕方に注意して音読しよう。

↓ P 132 へ

## 読み深めよう

- 2 「その人応ふることあたはざるなり。」(P 129 L 8) とあるが、なぜ答えることができなかつたのか、説明しよう。
- 3 「苗則ちかれたり。」(P 130 L 9) とあるが、なぜ枯れていたのか、説明しよう。

## 自分の考えを伝え合おう

4 P 129 L 9 で紹介されている故事成語の意味や由来を調べ、それを使った短い文章を書いて発表しよう。

### 振り返り

- 漢文の文章と現代の文章の、リズムや表現の違いを理解しているか。
- 故事成語が現代の日本語の中でよく使われていることを理解しているか。

### この教材で学ぶ漢字

<p>129 <b>鋭</b> エィ するとい 鋭い 鋭角</p>	<p>128 <b>盾</b> ジュン たて 後ろ盾</p>	<p>128 <b>矛</b> ム ほこ 話の矛先</p>
<p>130 <b>疲</b> ヒ つかれる 気疲れ</p>	<p>130 <b>苗</b> なえ なむ 苗代 苗木</p>	<p>129 <b>尾</b> ビ お 尾根 語尾</p>

130  
**枯**  
コ  
かれる  
枯れ木  
栄枯

130  
「付表」の語  
息子(むすこ)

## 漢文の読み方

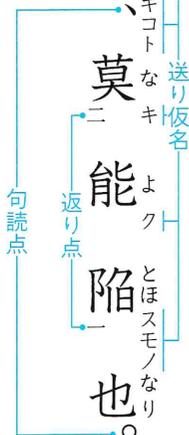
故事成語のもとになった話は、昔の中国の書き言葉を用いた文章です。漢字だけで書かれているAのような文を「白文」といいます。これにBのように「句読点」「送り仮名」「返り点」といった訓点を施すと、日本語に翻訳して読む(訓読する)ことができるようになります。訓点に従って漢字仮名交じりの書き方に改めたCのような文を「書き下し文」といいます。

A 白文

吾 盾 之 堅 莫 能 陷 也

B 訓点を施した文

吾<sup>わ</sup> 盾<sup>ガ</sup> 之<sup>たて</sup> の<sup>の</sup> 堅<sup>かた</sup>、<sup>キ</sup> 莫<sup>コト</sup> な<sup>な</sup> キ<sup>キ</sup> 能<sup>よ</sup> 二<sup>ニ</sup> 返り点 陷<sup>よク</sup> とほスモノなり<sup>とほスモノなり</sup> 也<sup>也</sup>。



C 書き下し文

吾が盾の堅きこと、能く陷すもの莫きなり。

● 送り仮名 言葉をつなぐ「……ハ」「……ノ」や、動詞の

形が変わる部分などを片仮名で漢字の右下に書きます。このとき、片仮名は歴史的仮名遣いを用います。

送り仮名は、ほかに「……(スレ)ド」「……(シテ)モ」などの意味を添える言葉や、「(清)シ」などの様子を表す言葉にもつけます。

● 返り点 漢文を日本語の語順で読むための符号です。漢字の左下に書きます。

▼レ点：一字下から返って読むときの符号です。

2 1 3  
誉<sup>ほ</sup> 之<sup>メテ</sup> 日<sup>これ</sup>、<sup>ラ</sup> 日<sup>い</sup>、<sup>ハク</sup>

レ点

之を誉めて日はく、

▼一・二点…二字以上、下から返って読むときの符号です。

3 1 2 4  
謂<sup>い</sup> 其<sup>ヒテ</sup> 人<sup>そ</sup> 日<sup>ニ</sup>、<sup>ハク</sup>

一・二点

其の人に謂ひて日はく、

# 広がる本の世界 5

学びを深める読書案内



**かぐや姫の物語**  
 たかはたいさお  
 原案 高畑勲  
 きやくほん  
 脚本 高畑勲・坂口理子  
 ノベライズ 坂口理子

『竹取物語』映画化の脚本家が、かぐや姫の壮大な物語の謎に迫る。



**竹取物語**  
 えくに かおり  
 江國香織 文 / たちばらいぬき  
 立原位貫 絵

現代を代表する浮世絵版画家と作家による、新たな物語世界。



**江戸の笑い**  
 おきつかなめ  
 興津要

江戸時代の落語や小ばなしを、多くのイラストや図とともに紹介。



**竹取物語**  
 なが お たけし  
 長尾剛

「求婚」を「プロポーズ」と訳すなどの超現代語訳で古典が身近に。



**漢文の読みかた**  
 おくだいらたかし  
 奥平卓

漢文を学び始めた今こそ読みたい、基本がわかる漢文入門書。



**故事成句でたどる楽しい中国史**  
 いなみりつこ  
 井波律子

故事成語をキーワードに、中国の歴史の名場面の数々をひも解く。



**日本昔話ハンドブック**  
 いなだこうじ  
 稲田浩二 / 稲田和子 編

日本の昔話の始まりや背景、あらすじなどを収載。



**風立ちぬ・美しい村・麦藁帽子**  
 むぎわらぼうし  
 ほりみつあ  
 堀辰雄

叙情的で清らかな美しさに満ちた、現実と虚構のロマンの世界。



**清兵衛と瓢箪 小僧の神様**  
 せいべえ ひょうたん こぞう  
 清兵衛と瓢箪・小僧の神様  
 しがなおお  
 志賀直哉

作者ならではの深い人間観察と鋭い描写力が光る短編集。